

平成20年11月17日

各 位

東京大学宇宙線研究所長
梶 田 隆 章
(公 印 省 略)

平成21年度共同利用研究の公募について（通知）

このことについて、東京大学宇宙線研究所共同利用研究公募要領により公募しますので、本研究所において共同研究を希望される方は、平成21年1月13日（火）（厳守）までに、電子ファイルにより別紙共同利用研究申請書を提出願います。さらに、印刷した申請書に研究代表者の方の印と所属長印を押印のうえ、平成21年1月30日（金）（厳守）までに郵送等により提出願います。

なお、応募研究課題が採択された場合には、別添東京大学宇宙線研究所共同研究員規程に基づき取り扱うこととなりますので、お含みおきください。

また、海外旅費に関しては、宇宙線研究所共同利用関連の海外観測拠点への旅費に限らせていただきます。

詳細については、宇宙線研究所ホームページをご確認願います。

（注意）
必ず最新の申請書（様式1）を使用してください。

東京大学宇宙線研究所共同利用研究公募要領

1. 公募目的

広い意味での宇宙線の観測・研究ならびにそれに関連した研究を当研究所と共同して行う。

2. 公募事項

以下の事項について共同利用研究課題の公募を行います。

- (A) 当研究所の共同利用施設、設備・装置の利用を必要とする広い意味での宇宙線の研究。
当研究所には乗鞍観測所、明野観測所、神岡宇宙素粒子研究施設、宇宙ニュートリノ観測情報融合センター等の共同利用施設と柏微弱放射能測定設備及びエマルジョン実験用設備等各研究部門に所属した共同利用設備・装置があります。また、本研究所大型計算機システムは、各研究部門を通して共同利用されます。
- (B) 下記の研究項目（a～f）のいずれかに該当し当研究所と協力して行う素粒子または宇宙物理に関する研究。

「研究項目」

- a 地下または深海で行う宇宙線研究
- b 飛翔体、高山または地上等で行う広い意味での高エネルギー宇宙線の研究
- c 高エネルギー宇宙ガンマ線源の探索・観測を主な目的とした研究
- d 化学組成、同位体測定等による宇宙線あるいは宇宙物質の起源に関する研究
- e 広い意味での宇宙線の研究に有効な観測手段、装置等の開発的研究
- f 広い意味での宇宙線の研究で将来発展が期待されるテーマの理論的または萌芽的研究

(C) 研究会

広い意味での宇宙線の研究で興味深い特定のテーマについて、全国の研究者が1～3日間程度本研究所で集中的に行う研究会。

3. 応募資格

国立大学法人、公、私立大学及び国、公立研究機関の教員、研究者等。ただし、代表者は常勤者に限る。また、学部学生は、研究補助者としてのみ参加できます。

4. 応募方法

所定の共同利用研究申請書（様式1）（宇宙線研究所ホームページ<http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/info/koubo/h21> に登載）に必要事項を記入のうえ、WORD形式（またはPDF形式）の電子ファイル（押印不要）を電子メールに添付して提出し、かつ押印された申請書の原紙を郵送などにより提出すること。

5. 応募期限

電子ファイルの提出： 平成21年1月13日（火） 17:00 厳守
押印された原紙の提出： 平成21年1月30日（金） 17:00 厳守

6. 応募書類提出及び問い合わせ先

東京大学柏地区宇宙線研担当課予算・決算係
〒277-8582 千葉県柏市柏の葉5-1-5 電話（04）7136-3188
電子メールアドレス：kyodo-riyo@icrr.u-tokyo.ac.jp

7. 審査

研究課題の採否、所要経費の査定等は、提出された電子ファイルの内容に基づいて共同利用運営委員会において行い、教授会で最終決定する。

8. 採否の判定

4月下旬頃

9. 研究代表者は、当該年度終了後速やかに、採択後通知される研究成果報告書を電子ファイルで提出すること。

研究成果報告書はそのまま宇宙線研究所ホームページに公表されるので簡潔明瞭に記載すること。

10. その他

- ① 今回の応募に関連した研究目的で他に（例えば、科研費、民間財団補助金等）要求している場合はその旨明示すること。
- ② 応募書類の提出にあたっては、各研究者の所属機関長の承諾を得ておくこと。
- ③ 参加研究者及び研究補助者の方で大学院生及び所属機関等がない方は、「学生教育研究災害傷害保険」又は同等以上の傷害保険に、必ず加入してください。
- ④ 電子ファイルは、なるべくWORD形式での提出にご協力をお願いします。

共同利用研究申込書等記入の留意事項

0. 注意事項 : **必ず最新の申請書(様式1)を使用してください。**
1. 公募事項 : 申込書右上欄に公募要領に基づく公募事項(A, B, C)の該当するものに○を
してください。
2. 共同研究部門・センター及び施設名等 : 申込書左上欄は、下記参考の番号・記号を必ず記入してください。
例: スーパー神岡利用の場合は 1(ア)
明野観測所施設利用の場合は 2(ア)
理論研究の場合は 3(イ)
3. 研究課題 : 和文と英文両方の研究課題を必ず記入してください。
4. 参加研究者及び研究補助者 : 参加研究者及び研究補助者は全員の氏名を記入してください。(原則として追加は認めません。)
研究補助者とは、学部学生を指し、旅費を支給することはできません。
スペースが不足する場合には必要なページ数分の(様式2)に記入をしてください。
新規で施設利用の申請をする場合は、宇宙線研究所内の参加研究者を入れてください。
所属や学年については、新年度(平成21年4月1日現在)で記入してください。
参加研究者と研究補助者の合計の人数を記入してください。
参加研究機関の数には宇宙線研究所を含めないでください。
5. 申込書の「その他」欄 : 研究代表者として複数の共同利用研究申込をするときは、申込書の「その他」の欄に研究課題名及び優先順位を記入してください。
6. 共同研究承諾書 : 共同研究承諾書については、参加研究者用(様式3)がありますので、必要事項を記入のうえ、必ず研究代表者が保管しておいてください。

参 考

平成16年度の組織替えに伴い、各研究申請は以下のように研究部門・センター・施設に割り当てられておりますが、申請書は該当する研究部門主任あるいはセンター長に提出されます。関連センター・施設等が明記されている場合には、部門主任からそちらに連絡します。

- 宇宙ニュートリノ研究部門
 - スーパー神岡利用(主任)
 - 神岡地下施設利用(主任および神岡施設長)
 - 地下ニュートリノ実験、地下実験関連(主任および神岡施設長)
- 高エネルギー宇宙線研究部門
 - 明野観測所施設利用(主任および明野観測所長)
 - 乗鞍観測所施設利用(主任および乗鞍観測所長)
 - エマルジョン現像施設利用(主任)
 - ガンマ線、最高エネルギー宇宙線、超高エネルギー宇宙線(主任)
- 宇宙基礎物理研究部門
 - 重力波関連(主任および神岡施設を利用する場合は神岡施設長)
 - SDSS、理論(主任)
- 宇宙ニュートリノ観測情報融合センター
 - 一次線、柏地下施設利用(センター長)
 - 計算機利用(センター長および計算機委員会)
 - 宇宙線将来計画研究会(センター長および所長)

様式 1

共同研究関連 部門・センター 及び施設名等		部門主任 又は、 セクター長	印
-----------------------------	--	----------------------	---

公募事項	(A) 施設名 () (B) 研究項目 (a、b、c、d、e、f) (C)
------	--

平成 21 年度共同利用研究申請書	
東京大学宇宙線研究所長 殿	平成 年 月 日

下記のとおり、申請者が貴研究所における共同利用研究に従事することを承諾します。

平成 年 月 日

申請者の所属長 職・氏名 印

※「所属長」とは学部又は研究所にあっては学部長及び研究所長、単科大学にあっては学長、大学院にあっては研究科長

研究代表者 職名・氏名	印	所属機関・部局 (住 所)	〒
		e-mail	TEL

研究課題	新規	(和文)	実施 期間	自	平成	年	月	日
	継続	(英文)		至	平成	年	月	日

参加研究者 及び 研究補助者	所 属・職 名・氏 名				所 属・職 名・氏 名			

参加研究者・研究補助者の人数の合計	名	宇宙線研以外の参加研究機関の合計	機関
-------------------	---	------------------	----

本研究に 必要な経費 ※ここに国 内旅費総額 海外旅費総 額を書いて ください	品 名	規 格	数 量	単 価	金 額	備 考
	国内旅費 海外旅費			円	千円	

来所計画 および 渡航計画	氏 名	回数	滞在日数	出 発 駅	滞 在 場 所	氏 名	回数	滞在日数	出 発 駅	滞 在 場 所

利用施設	利用施設名	実験室名	使用電力等
------	-------	------	-------

その他	(今回の申込み以外に関連の研究目的で科研費等、他に要求している場合は本欄に記入して下さい。他の要求が継続の場合、予定金額、新規の場合、要求中の金額を明記してください。)
	(複数の申込みの場合には研究科題名及び優先順位を記入してください。)
	(海外旅費を申請している場合は、積算根拠を示してください。)
1. 研究目的 (緊急性、国際競争性を含め記入して下さい。)	
2-1. 研究計画と具体的な方法	
2-2. 次年度以降の計画	
整理番号	

3-1. この研究計画に関連した過去3年間の共同利用研究採択課題、使用金額とその代表者

3-2. 従来成果と期待される成果

(**新規の場合** この研究に関連するこれまでの準備状況、研究成果

継続の場合 前年度の研究成果に関する報告を以下に記述すること。)

3-3. 最近の発表論文

様式2

所属・職名・氏名

整理番号

東京大学宇宙線研究所

様 式 3

共 同 研 究 承 諾 書

平成 年 月 日

申請者（研究代表者）

殿

参加研究者 所属
職名
氏名 印

東京大学宇宙線研究所における下記研究題目の共同研究者となることを承諾します。
※学生・協力研究員及び所属機関のない方
共同利用開始までに、「学生教育研究災害傷害保険」又は同等以上の傷害保険に
加入することを誓約します。

記

研究題目

研究期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

上記の研究題目が東京大学宇宙線研究所において採択された場合、当機関に所属
する上記の者が、共同研究者となることを承諾します。

平成 年 月 日

所属長 職・氏名 職印

指導教員の所属・職・氏名 印
(学生の方は両方の承諾印をお願いいたします)

※「所属長」とは学部又は研究所にあっては学部長又は研究所長、単科大学にあっては学長、大学院にあっては研究科長

宇宙線研究所共同利用費の使用内訳変更申請書

(査定額の30%を超えて変更する場合に提出)

(この書類は <http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/info/koubo/h20/07-henkou-h20.doc> にて得られます。)

x x x x 部主任殿、または x x x x センター長殿

XXX 年 X 月 X 日

申請者氏名： x x x x

所属機関名： x x x x

連絡先（住所、電子メールアドレス、電話、ファックス） x x x x

変更申請理由

(長さ自由)

査定額内訳

物件費 XXX 千円 国内旅費 XXX 千円 海外旅費 XXX 千円

変更申請後の内訳（全内訳額を記入のこと）

物件費 XXX 千円 国内旅費 XXX 千円 海外旅費 XXX 千円

(注意：本件は所長と相談のうえ、決定されます。)

審査結果

(空欄にしておくこと。)

宇宙線研究所 x x x x 部門主任

名前、印←主任用

東京大学宇宙線研究所共同研究員規程

平成16年10月13日 改定

平成元年9月14日 制定

第1条 東京大学宇宙線研究所（以下「研究所」という。）における共同研究員の受入れに関しては、この規程の定めるところによる。

第2条 共同研究員とは、大学及び国公立の研究機関に所属する研究者並びにその他これらに準ずる研究者で、次の各号の一に該当するものをいう。

一 研究所が行う共同利用研究の公募に応じ、研究課題が共同研究として採択された研究者

ただし、応募に際しては、各研究者の所属機関長の承諾を得てから応募書類を提出しなければならない。

二 研究所の要請に応じて、共同研究を行う研究者

第3条 共同研究の期間は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第4条 共同研究を行うにあたっては、研究代表者を置かなければならない。

研究代表者は、研究所外の研究者であっても、研究所の教員であっても差し支えない。ただし、代表者は常勤者に限る。

2 研究代表者は、研究計画の取りまとめを行うとともに、共同研究の推進に関し責任をもつものとする。

3 研究代表者は、共同研究の所属研究部の部主任と協議のもとに、共同研究を遂行しなければならない。

4 研究代表者は、当該年度の終了後速やかに、当該共同研究について研究状況及び研究成果を記載した報告書を、研究所の各部主任を通じ、所長あて提出しなければならない。

第5条 共同研究員は、共同研究を行うにあたって、研究所の定める規定を遵守しなければならない。

第6条 共同研究員には、別に定めるところにより予算の範囲内で旅費を支給することができる。

第7条 共同研究員が、共同研究の成果を発表するときは、研究所に採択された共同研究である旨を明示しなければならない。

第8条 共同研究員は、当該共同研究のために、研究所の共同研究に供する施設、設備、文献等を利用することができる。

附 則

この規程は、平成元年9月14日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年10月13日から施行する。